

資料館だより

2026.4.1 No.130 (季刊)

編集・発行 国立ハンセン病資料館

「資料館だより」は、本号からデジタル版での発行となりました。パソコンやスマートフォンでご覧いただき、個別記事中の「[詳細とお申込は、こちら](#)」等をクリックされますと、当館ホームページや外部サイトに移動します。引き続き、「資料館だより」をご愛読いただけますと幸いです。

国立ハンセン病資料館は、2027年4月の常設展示リニューアルに向けて、**2026年12月1日から2027年3月31日まで休館いたします。**

現在の常設展示を見学いただけるのは残り8ヵ月となります。改めて皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

当館常設展示リニューアルの経緯と意義について



現在の常設展示
(展示室1「歴史展示」の一部)

2023年8月に厚生労働省に提出の常設展示見直し検討会最終報告書によると、「効果的な展示構成の追究」でも、例えば、次のように提言されました。

「展示物を見せるだけでなく、学芸員と話し合うなど、双方向の対話のような発展型も含めた展示にすることで、より効果的な展示となる。その意味で、資料館自体の大きなコンセプトの改革が必要になる。」

「現在の常設展示は、歴史展示の「古代」から始まり、「近代」にいくまでに時間がかかってしまう。来館者に当事者の語りに触れられる部分はいちばん最後にある。こうした展示の順序についても見直す必要がある。」

「もうひとつ常設展示の問題として指摘されたのが、個々の事件がばらばらで、人権闘争ともつながらず、ひとつの大きな歴史観に裏付けられているような展示になっていないという点である。」

これらの提言を受けて、上記検討会ワーキング・グループ委員も入ったチームで、「展示リニューアルの考え方：課題と改善の方向性、リニューアルコンセプト、展示構成、来館者への訴求方法」の見直し案を検討してきた結果、先月3月、2026年度からリニューアル工事に入ることが確定しました。

厚生労働省の委託事業「ハンセン病問題に係る全国的な意識調査」の2024年3月付け報告書では、ハンセン病問題に係る「国の人権教育・啓発活動は市民にはほとんど届いていない可能性があることが示唆された」とも指摘されています。この指摘も踏まえたりリニューアル・オープンをめざしています。

(内田博文・国立ハンセン病資料館館長)

「追悼—加藤博子展」(仮)のご案内

2025年12月2日に逝去した加藤博子さんの追悼展を開催します。

加藤さんは1943年生まれ、12歳で駿河療養所^{するがりょうじょ}に入所します。その後、長島愛生園^{ながしまあいせいえん}の邑久^{おく}高等学校^{にいらいら}新良田教室に進学。好きだった絵画制作に熱中し、美術展などへの入選を重ねました。新良田教室の卒業にあたり、彼女は次の言葉を残しました。

「入学当時、単に「好き」それのみだつた美術が、私の中に大きい存在を示してくるようになった。深く追求したい。それを通して、人生の姿、人間の本质^{きよしよく むな}、虚飾の虚しさを知りたい」加藤博子「卒業にあたり」(『全患協ニュース』1963年4月1日号)

その後、駿河療養所で結婚。夫との社会復帰と駿河療養所への再入所を経験します。社会復帰にあたっては絵画制作を中断し、編み物の技術を習得。経済的な自立と新しい生き方を模索しました。

再入所後も表現活動を続け、絵画制作を再開するとともに短歌や詩などにも取り組みました。それらの表現は、「深く追求したい」と書いた少女のその後の実践であり、隔離下を生き抜いた彼女の尊厳を証明するものとなりました。

加藤さんは療養所では数少ない女性の描き手でもありました。本展は彼女の活動を、入所と邑久高等学校新良田教室で過ごした十代、結婚と社会復帰、再入所以降の三期に分け、彼女の絵画作品、編み物作品、関連資料を展示します。旺盛な制作意欲を示した彼女ですが、彼女の作品と活動には隔離政策が入所者にもたらした人生被害のありようが色濃く刻まれています。ぜひご高覧ください。(吉國元)



加藤博子「鉄塔のある風景」1992年

●「追悼—加藤博子展」(仮)

会期：2026年5月2日(土)～
6月7日(日)

会場：当館企画展示室

[詳細と関連イベントに関しては、
当館のHPをご覧ください。](#)

ご案内 館内に飲食スペースを開設

当館では、館内1階ギャラリーの東側、庭を望む場所に飲食スペースを設けました。開館時間中、皆さまがお持ち込みの飲み物や食べ物を飲食いただけます。館内見学のご休憩やお待ち合わせに、ご利用ください。

開設にあたっては、ギャラリーの展示観覧への影響を心配いただく意見もございましたが、多くの来館者の皆さまからこれまでに寄せられたご要望にお応えさせていただくこととしました。

なお、飲食スペースのご利用予約は承っておりません。あらかじめご了承ください。



ご案内 4月～6月のイベント

■多磨全生園の史跡ガイドツアー

好評のガイドツアーを今年も開催！学芸員が^{た ま ぜん し ゅ う え ん}多磨全生園の史跡をご案内します。花や新緑の美しい季節に、入所者の方々があゆんだ歴史に想いを馳せながら園内を歩きませんか？

【日程】2026年 4月4日(土)・5月2日(土)

【時間】①10時00分～12時30分 ②13時50分～16時20分

・両日とも①②開催

・②の回は手話通訳士付。希望される場合は開催日2週間前までにお申し込みください

【定員】各回30名程度・先着順 [詳細とお申し込みは、こちら\(当館HP\)](#)



ガイドツアーでは、かつての居住舎の中もご案内します

■常設展示解説

学芸員が展示室2をご案内し、かつての療養所での過酷な暮らしを解説しています。初めてハンセン病問題に触れる方にもおすすめです。

【日程(2026年4月～6月分)】

4月11日(土)・4月29日(祝)・5月4日(祝)・5月6日(振祝)・

5月23日(土)・6月6日(土)・6月21日(日)

【時間】13時30分から30分程度

【定員】各回先着20名(開始30分前から受付で整理券を配布) [詳細は、こちら\(当館HP\)](#)



全国どこにでも無料で伺います！出張講座のご案内

国立ハンセン病資料館では、講師を派遣しハンセン病問題についてのお話をさせていただく「出張講座」を行っています。10名様以上の団体であれば、どなたでも無料(講演料、交通費とも)でご利用いただけます。はじめてハンセン病問題を学ぶ方向けの内容となっており、児童・生徒・学生を対象とした人権学習、企業や自治体の職員・学校教職員などを対象とした人権研修、市民向け生涯学習講座など、さまざまな目的でご利用いただけます。実施方法は対面のほか、オンラインと録画(事前に収録した講演動画を提供)にも対応しております。

ご来館が難しい場合などは、ぜひ出張講座のご利用をご検討ください。

【担当】事業部社会啓発課

(大高俊一郎)

[詳細とお申し込みは、こちら\(当館HP\)](#)



国立ハンセン病資料館・開館カレンダー

[開館日・イベント開催日は、こちら\(当館HP\)▶](#)

国立ハンセン病資料館「お知らせメール」では、「資料館だより」を含めた最新の情報をお届けしています。

[「お知らせメール」の詳細と登録は、こちら\(当館HP\)▶](#)

国立ハンセン病資料館公式SNS

フォローやシェアをお願いします！

[Facebook▶](#)

[X▶](#)

[Instagram▶](#)

[YouTube▶](#)

図書室より



『加藤健』(加藤博子、2023年) 今回ご紹介するのは、写真集『加藤健』(加藤博子、2023年)です。タイトルにもなっている加藤健さんは、2022年に亡くなったハンセン病回復者です。この写真集『加藤健』は、加藤健さんが生前に発行した2冊の写真集『蓮物語』『蓮物語2』を再構成した「蓮物語」に、撮りおろしの写真と短歌で構成された「Besides」を加えたものです。

「蓮物語」はその名の通り、ひたすらに蓮の写真で構成されたものです。「泥中の蓮」のように仏教と馴染み深い蓮ですが、加藤健さんの奥様である博子さんは、蓮は「蕾から蕾で終わる」ということに特別な思いを感じていらしたようです。写っているのは花だけではなく、枯れ落ちた葉や、茎にとまる虫など、美しいだけではない蓮のさまざまな顔を見せてくれます。

「Besides」は様々な被写体と、それらを詩的に表現した短歌が一緒になった作品群です。その中でもやはり植物が多いのは「蓮」というテーマで写真を撮り続けた加藤健さんのこだわりでしょうか。当館図書室では『蓮物語』『蓮物語2』も所蔵しており、それらの巻末には加藤健さんと博子さんのあとがきが掲載されています。写真集『加藤健』と合わせて読むと、加藤健さんの世界がぐっと深まります。それぞれ貸出も可能ですので、ぜひご利用ください。(齊藤聖)

[図書室のご利用案内は、こちら \(当館HP\)](#)

啓発パネル「絵で見てわかるハンセン病問題」のご紹介

当館では、ハンセン病問題の普及啓発を目的として啓発パネルの貸し出しを行っております。2025年に開催した「絵で見てわかるハンセン病問題パネル展」のパネルを新たに貸出用パネルとして制作しました。ハンセン病問題を知るための15のポイントをイラストと短い文章(総ルビ付き)でわかりやすく説明し、イラストを通してハンセン病問題や人権の大切さを学べるパネルです。イラストは、2021年からながしまあいせいえん(長島愛生園)に通い、入所者の書いた作品を読んだり、お話を聞いたりして感じたものをマンガ作品にしている、あさののいさんです。最大4週間無料でご利用いただけます(返送時の送料はご負担いただきます)。皆さまどうぞご利用ください。

[詳細とお申し込みは、こちら \(当館HP\)](#)



お知らせ

「資料館だより」は、本号からデジタル版(PDF)での発行となりました。当館HPから閲覧・ダウンロードが可能です。[「資料館だより」バックナンバーは、こちら \(当館HP\)](#)

国立ハンセン病資料館 利用案内

- 開館時間 9:30~16:30 [利用案内の詳細は、こちら \(当館HP\)](#)
- 入館 無料
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始、国民の祝日の翌日、館内整理日
- 交通
 - ・西武池袋線 清瀬駅南口より 西武バス「久米川駅北口」行バスで約10分(「ハンセン病資料館」下車)
 - ・西武新宿線 久米川駅北口より 西武バス「清瀬駅南口」行バスで約20分(「ハンセン病資料館」下車)
 - ・JR武蔵野線 新秋津駅より 徒歩約20分



〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13 TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981 URL <https://www.nhdm.jp/>